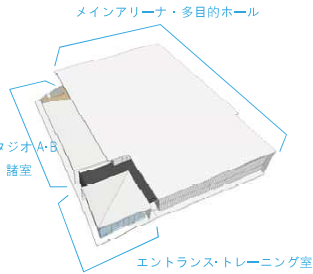


### 3-10 立面計画

#### 1. 立面計画の考え方

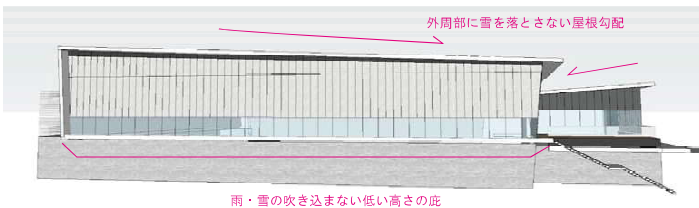
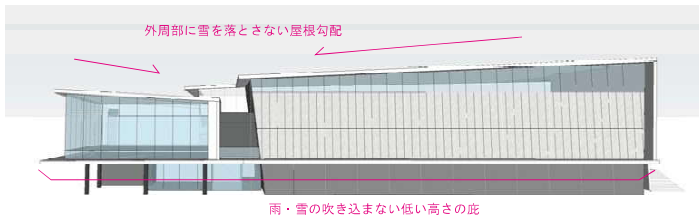
##### (1) 適切なボリュームの分節

体育館は12.5mの天井高さが必要なメインアリーナ・多目的ホールと4m程度のスタジアム・5m天井高を必要とするスタジオ等で構成されており、空間・室のボリュームがそれぞれの場合・部屋で異なります。高さが異なるものを一つのボリュームでまとめると各所に無駄が生じてくるので、今回の計画では、メインアリーナ・多目的ホール、エントランス部分、諸室部分の大きく3つのボリュームに分節することでそれぞれに必要な高さの屋根を計画し、空間的にもコスト的にも無駄のない計画とします。



##### (2) 積雪・雨天時の利用者の移動に配慮した庇・屋根

体育館の周りは駐車場及び各施設へ通ずる歩行動線となる為、冬場や雨天時の移動にも支障が無いように、建物の北・東・西面には雨・雪の吹き込みを配慮した高さの庇を設けます。また庇と一体に見える形で屋根を設け、全体として統一感のあるデザインとします。屋根も積雪時の落雪に配慮し、建物内部側へ勾配をとり、外周部に雪を落とさず安全に体育館周辺を歩行できる計画とします。



凡例	
①	コンクリート打放し仕上A種の上 フッ素樹脂カラークリア
②	コンクリート打放し仕上A種の上 低汚染塗料
③	押出成型セメント板縦張りフッ素樹脂塗装
④	耐火サンドイッチパネル横張りフッ素樹脂塗装
⑤	アルミパネルt=3.0
⑥	フッ素ステンレス鋼板瓦葺葺
(A)	アルミサッシ (B-2)
(B)	アルミ目隠しルーバー
(C)	手摺：ガラス手摺
(D)	アルミガラリ (B-2)

